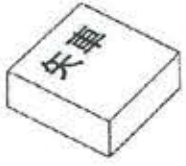



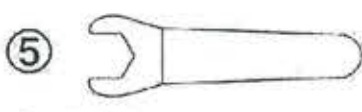
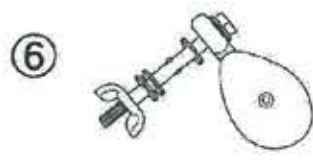




# 庭園用鯉のぼりセット

G-02

## 部品の名称

- ①  ● 矢車…1セット
- ②  ● どこでもスタンド …… 1セット
- ③  ● ポール…1組  
鯉の大きさにより、6本、7本、8本継ぎの3種類あります。組立方法は同じです。
- ④  ● ボルト・ナット  
ポール6本継ぎ…5本  
ポール7本継ぎ…6本  
ポール8本継ぎ…7本  
※ナットは1つ予備
- ⑤  ● スパナ……………1ヶ
- ⑥  ● 滑車付ボルト …… 1ヶ
- ⑦  ● 引き上げロープ …… 1ヶ
- ⑧  ● 口金具 …… 4ヶ  
(7ヶ入りもあります)

## 組み立て順序

1



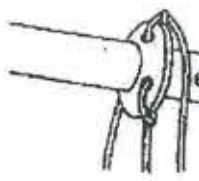
**矢車の組み立て**  
①の矢車セット内の組立説明書を参照して下さい。

2



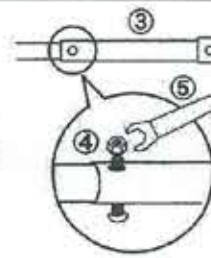
**どこでもスタンドの組み立て**  
②のどこでもスタンド内の組立説明書を参照して下さい。

3



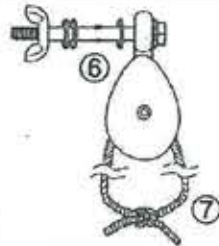
**張り網用円盤の取り付け**  
②のどこでもスタンド内の張り網用円盤に張り網を結び付け③のポールに通しておいて下さい。  
【円盤位置】  
ポール6本継ぎ } 太管から4番目  
ポール7本継ぎ }  
ポール8本継ぎ }

4



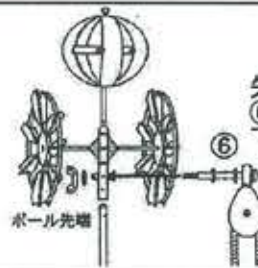
**ポールの組み立て**  
③のポールの先端から④のボルトを⑤のスパナで組み立てて下さい。  
※ゆるみ止めの特殊ナットのため、スパナとドライバーを使って締めて下さい。締めすぎるとポールを傷つける恐れがあります。

5



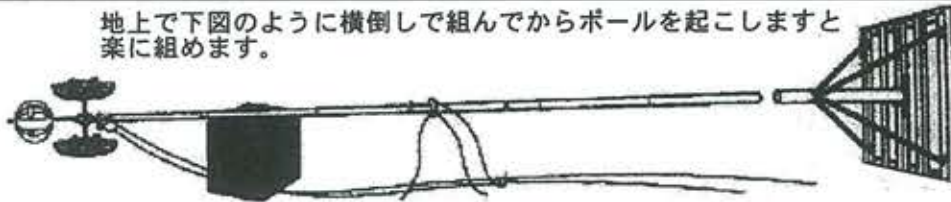
**ロープの取り付け**  
⑥の滑車付ボルトに⑦の引き上げロープを取り付け先端を結んで下さい。

6



**矢車とポールの接続**  
矢車とポールをロープの付いた⑥の滑車付ボルトで接続して下さい。  
※矢車の筒穴は一番上を使用して下さい。

7



地上で下図のように横倒しで組んでからポールを起こしますと楽に組めます。

**ポール部分の組立完成**

どこでもスタンドで接続しているポール本体下部(図2)と組み上げたポール部分を接続する。

8

**おもりと張り網による補強**  
②のどこでもスタンドの組立説明書を参照して下さい。

9



**口金具の取付け**  
吹流しと鯉のぼりを⑧の口金具を使って取付けてください。

## ⚠ 使用上のご注意

- 作業するときはケガをしないように軍手や手袋を着用して下さい。
- 組み立て中に万一、ポールが倒れた場合を考え、周囲の安全をご確認の上、組み立てを始めて下さい。
- ポールはアルミ製のため、電線に触れないようご注意ください。
- 強風の場合は鯉をポールから降ろして下さい。
- 小さな部品がありますので、作業中はお子様にご注意下さい。

日本鯉のぼり協会会員

製造  株式会社 中須

〒557-0063 大阪市西成区南津守5丁目1-32  
TEL: 06-6656-0200  
FAX: 06-6656-0300

# 矢車 組み立て説明書 Y-01 (庭園用)

(品質改良の為、化粧箱掲載写真と現物が多少異なる場合がございます。)

## 部品名称



1 回転球・・・1ヶ



4 円盤・・・2ヶ



7 筒・・・1ヶ



9 部品袋・・・1セット



2 縦軸・・・1ヶ



5 矢羽根・・・14ヶ



リング・・・1ヶ



ワリピン (シルバー)・・・17ヶ  
【3ヶ予備】



ワリピン (ゴールド)・・・5ヶ  
【1ヶ予備】



ネジ (蝶ナット付)・・・3ヶ



止め金具・・・2セット



ワッシャ・・・4ヶ



キャップ・・・2ヶ



釘・・・1ヶ  
(ボールが材木の時のみ使用します)



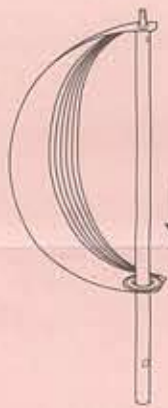
3 回転球キャップ・・・1ヶ



6 帯・・・2ヶ  
(上図と違う形もございます。)

8 横軸・・・1ヶ

## 1. 回転球の組み立て



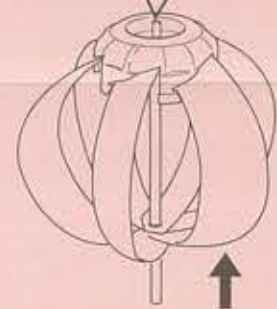
パイプは下から入れます

1 回転球に図の様に 2 縦軸を差し込みます。



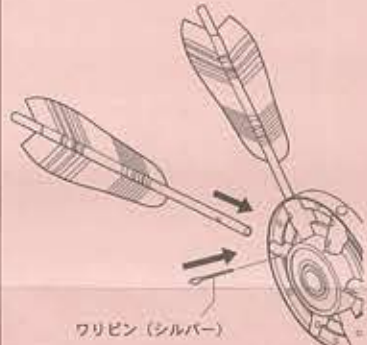
### リングの止め方

リングを縦軸の上部の横穴に差し込んで固定して下さい。



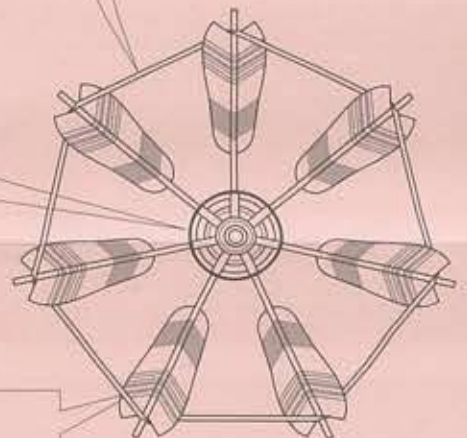
上図の様に 3 回転球キャップを、広げた回転球上部に差し込み、各々の溝にはめ込みます。回転球は出来るだけ球形にしてください。↑の下部から押すと丸くなります。

## 2. 矢車の組み立て



4 円盤に 5 矢羽根を差し込みワリピン (シルバー) で止めて下さい。

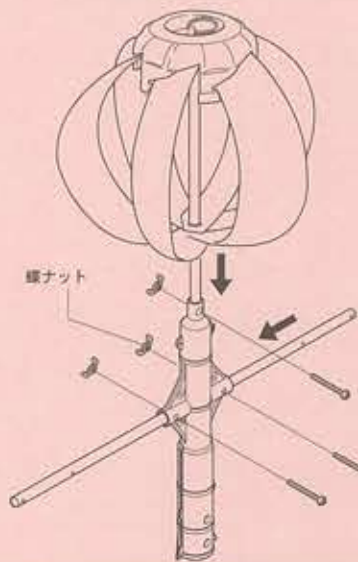
5 矢羽根を 6 帯で固定して下さい。



6 帯の両端の穴を合わせ止め金具をベンチなどでしっかりはさんで止めて下さい。

羽根は、上図の様な状態で保存して下さい。翌年素です。  
※ 羽根は、解体しないで下さい。

## 3. 筒の取り付け



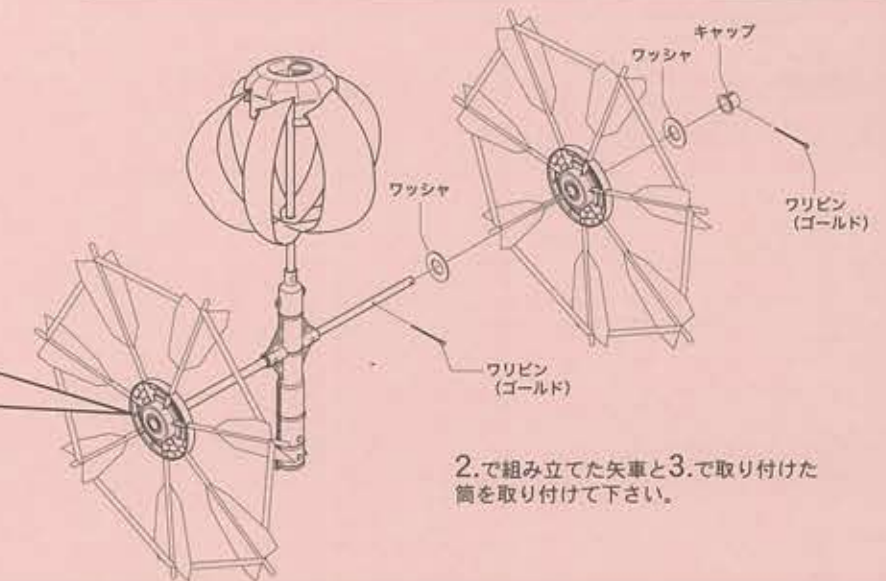
7 筒に 1. で組み上げた回転球と 8 横軸を差し込みネジで取り付けて下さい。

### 割りピンの止め方

上から下へ差し込んだ後で、左右に広げて下さい。



## 4. 矢車の取り付け



2. で組み立てた矢車と 3. で取り付けた筒を取り付けて下さい。

### ⚠ 使用上のご注意

- ・小さい部品がありますので、作業中はお子様にご注意下さい。
- ・部品落下防止の為、ネジや割りピン部分などはしっかりと工具などを使い固定して下さい。
- ・説明書は組立て終了後も、紛失しないように保管して下さい。
- ・シーズン終了後は、必ず矢車を降ろして下さい。
- ・使用後は汚れを落とし、乾いた布などで良く拭き、可動部分には注油して湿気の少ない所に保管して下さい。
- ・本製品は消耗品であり、使用・保管状態により、変色・腐食する場合があります。翌年、組立てる前に必ず腐食状態をご確認下さい。
- ・部品を紛失、破損等した時は右記へお知らせ下さい。実費と送料でお送り致します。

日本鯉のぼり協会会員



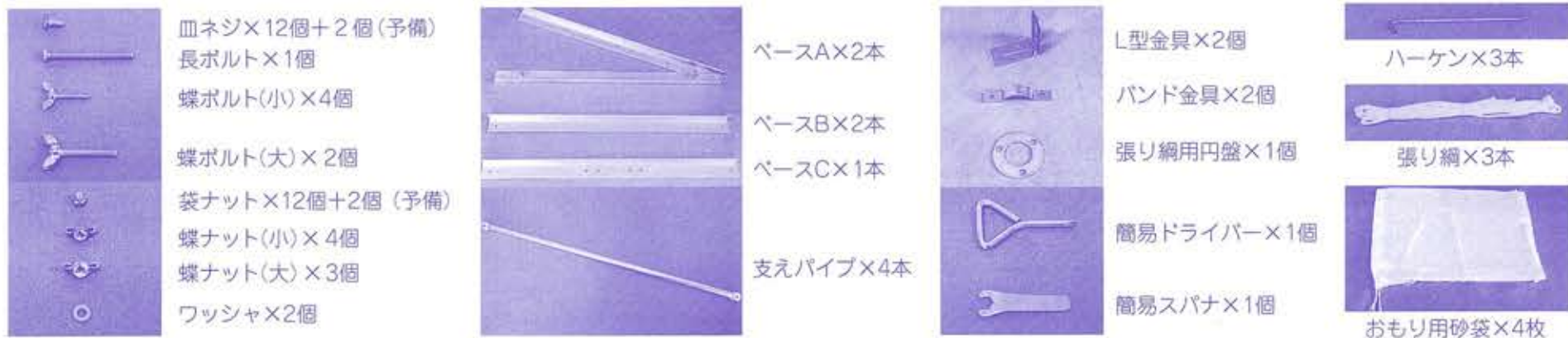
株式会社 中 須

〒557-0063 大阪市西成区南津守5丁目1-32  
TEL: 06-6656-0222  
FAX: 06-6656-0300

# どこにでも設置できる アルミ製どこでもスタンド 組立・使用説明書

(対応ポールサイズ ●最下部直径…35～55mm ●ポール全長…8m以下)

## 部品確認

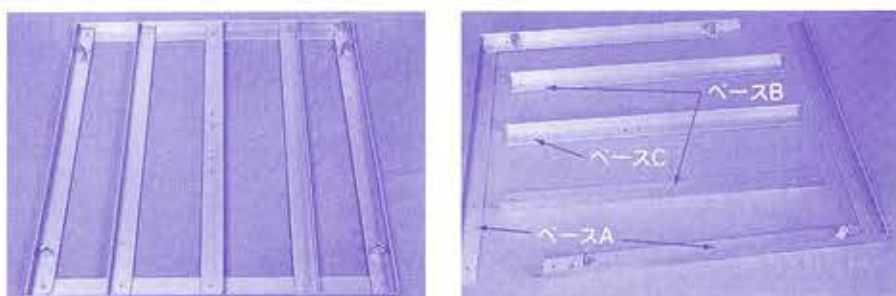


## 組立順序

(簡易ドライバー、スパナでしっかりと組み立てて下さい。)

**ご注意** シーズンが終わって収納される時は、砂袋から、ブロック又は、砂を取り出して、ご収納下さい。

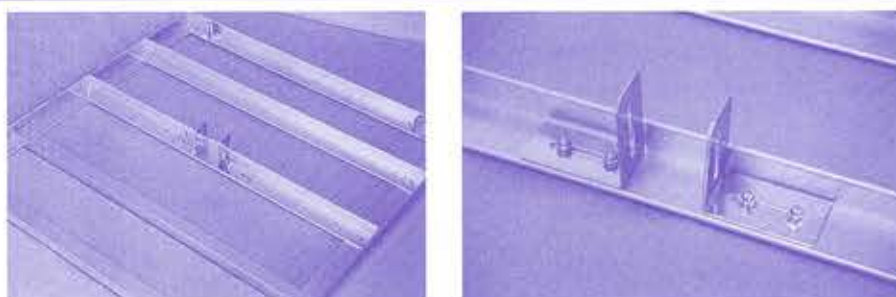
1



### ベースの組み立て

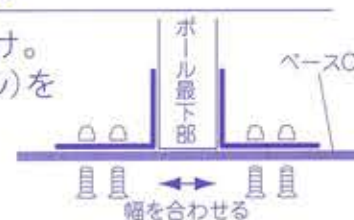
ベースA(2本)、ベースB(2本)、ベースC(1本)で組み立て。  
※血ネジ、袋ナット〔各8個〕使用。

2

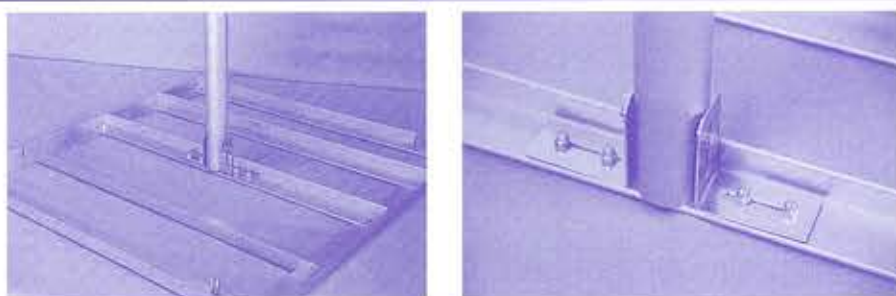


### L型金具の取り付け(2個)

ベースCの中心部にL型金具(2個)を取り付け。  
この時、ポールの最下部部分(最も太いポール)を取り出し、最下部の幅に合わせて、取り付け。  
※血ネジ、袋ナット〔各4個〕使用。  
ワッシャは使いません。



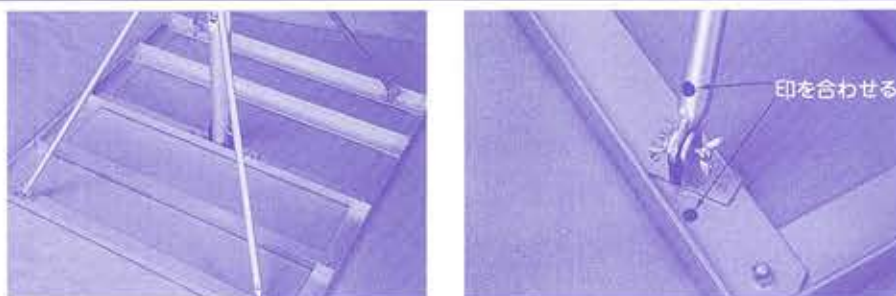
3



### 鯉のぼりのポール本体最下部(最も太いポール)のみの取り付け

ポールに合わせて取り付け。  
※長ボルト、蝶ナット(大)〔各1個〕、ワッシャ〔2個〕使用。

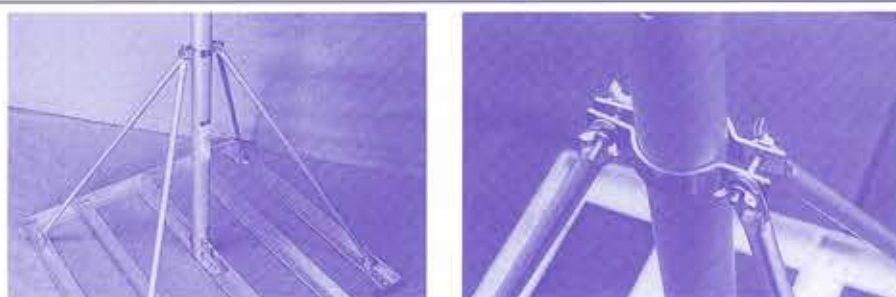
4



### 支えパイプの取り付け(4本)

ベース四隅の金具に支えパイプの印(例えば、赤印部分と赤印部分)を合わせて取り付け。  
※蝶ボルト(小)、蝶ナット(小)〔各4個〕使用。

5



### バンド金具の取り付け

ポールと支えパイプを固定。その際には必ず写真の様に支えパイプはバンド金具の外側に取付けて下さい。  
※蝶ボルト(大)、蝶ナット(大)〔各2個〕使用。

6

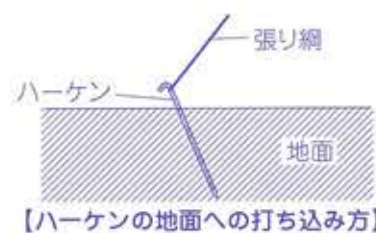
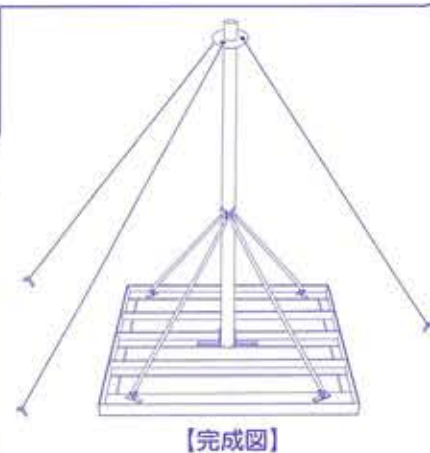
### おもりによる補強

おもり用砂袋に土を入れて、ベースの上に均等になるよう四方にのせて下さい。  
砂袋の個数が多い程丈夫になります。  
土が用意できない場合は、コンクリートブロックを袋に入れて4個以上のせて下さい。

7

### 張り網による補強

張り網用円盤をポール本体に入れて、必ず張り網とハーケン(各3本)で固定して下さい。  
(ポールを立てる前に、張り網用円盤を下から2m位のポールの継ぎ目に入れて下さい。)  
※ハーケンは斜めに地中に打ち込んで下さい。



鯉が、矢車やポール等にかからんだ時

……おもりと張り網をはずして、そのまま横倒しにすると簡単に修復できます。

**(注意)** 強風の場合は鯉をおろして下さい。